

最終処分場

埋立は安全性、効率性を考慮し、ごみの飛散、流出防止、悪臭の発生防止等に努めながら行います。



平成5年3月



平成30年12月

建設概要

第1期工事

- 埋立地面積：18,900㎡
- 埋立容量：118,000㎡
- 竣工：昭和62年3月
- 埋立完了：平成5年9月
- 事業費：379,000,000円

第2期工事

- 埋立地面積：23,250㎡
- 埋立容量：251,000㎡
- 竣工：平成5年3月
- 事業費：420,240,000円

手選別

埋立ごみに混入する可燃物、有価物を回収し、最終処分場の延命化を図っています。



最終処分場浸出液処理施設

最終処分場から浸出液を集水し、高度な設備により処理し、安全な水として放流します。



建設概要

第1期工事

- 建築面積：194㎡
- 処理能力：60㎡/日
- 竣工：昭和62年3月
- 事業費：167,900,000円

第2期工事

- 建築面積：168㎡
- 処理能力：29㎡/日
- 竣工：平成5年3月
- 事業費：292,520,000円

処理方式

- 接触酸化、凝集沈殿、脱窒、砂ろ過、活性炭・キレート吸着

処理設備フロー

